

令和5年3月3日

PTA会員各位

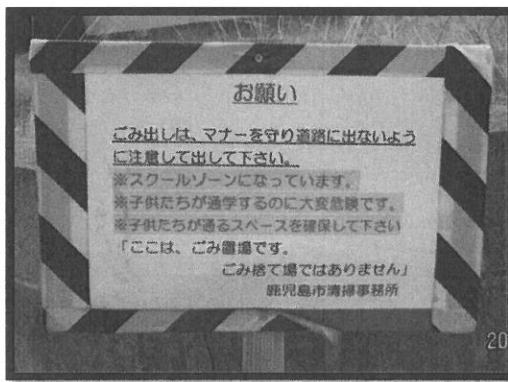
鹿児島市立吉野小学校  
校長 常深 章  
スクールゾーン委員会  
委員長 新山 望  
PTA生活安全部  
部長 野間口 亜紀子

## 令和4年度 通学路危険箇所改善要望について（回答）

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、令和4年6月に市へ提出しました標記要望につきまして、下記のとおり回答がございましたので御報告いたします。

### 記

要望①	ワールドジム奥の細い道路、帯迫交差点から菖蒲谷入り口交差点の道路のゴミステーションが歩道にあり、ゴミが歩道をふさいで児童が車道にはみ出して通行している。
回答①	(鹿児島市清掃事務所) ゴミ出しマナー啓発のため、看板設置  A rectangular sign with black and white diagonal stripes at the top. The text on the sign reads: <p>お願い ごみ出しは、マナーを守り道路に出ないよう に注意して出して下さい。 ※スクールゾーンになっています。 ※子供たちが通学するのに大変危険です。 ※子供たちが通るスペースを確保して下さい 「ここは、ごみ置場です。 ごみ捨て場ではありません」 鹿児島市清掃事務所 20</p>
要望②	ワールドジム奥の「こめ太郎」敷地横に川があり、崖になっている。転落の危険があり、注意喚起してほしい。
回答②	(市安心安全課) 私有地のため、土地所有者または土地管理者に許可を得て注意喚起の看板を設置してはどうか。 (スクールゾーン委員会) 土地所有者・管理者の許可が得られ、児童に対し進入禁止の注意喚起の看板を作成し設置した。  A white rectangular sign with a black outline and the word "危険！" in large, bold, black letters. Below it, smaller text reads: <p>このさき、はいってはいけません 吉野小スクールゾーン委員会</p>

要望③	小学校プール近くの校門から出た T 字路のミラーが曇っていて危険。
回答③	(吉野工事事務所) 令和4年6月、ミラー交換済み。
要望④	吉野中学校前（アップルハウス・早崎屋前）の横断歩道に早崎屋からワークマンに渡る側の歩行者用信号がないため設置してほしい。
回答④	令和3年度スクールゾーン委員会から市へ要望提出し、鹿児島中央警察署より「必要性が認められたので、設置の方向で検討する」との回答あり。 その後の進捗状況確認 (鹿児島中央警察署交通課) 令和5年1月30日回答 現在、上申中。
要望⑤	帯迫交差点から小学校方面へ向かう一方通行は逆走車が多い。 また、スクールゾーン時間帯車両進入禁止時間帯に標識に気づかず進入する車が多いため、標識の位置の検討、道路入口の電柱等へ看板を設置してほしい。
回答⑤	(鹿児島市中央警察署交通課) 吉野小北側交差点には、2本の標識柱にそれぞれ複数の標識版を設置しており、分かりにくくなっていたことから、各標識版の間隔を広げる等して分かりやすく変更してあるほか、大石様河交差点方向及び吉野支所入口交差点から同交差点に向けて、指定方向外進行禁止の標識も設置しています。 また、県道側にも指定方向外進行禁止の標識が設置しております。 つきましては、現場確認したところ、各方向から、いずれの指定方向外進行禁止の標識は視認性も良いと認められることから、現状のままで問題はないと考えます。
要望⑥	大石様河交差点そば鎮守神社前の市道は下り坂になってスピードも出やすいため危険。「スピード落とせ」の路面標示をしてほしい。
回答⑥	(鹿児島市道路建設課) 現場調査を行い警察と協議した結果、「スピード落とせ」の路面標示を設置します。
要望⑦	大石様河交差点から小学校プール側へ向かう市道は、スクールゾーンと知らず時間帯の車両進入が多いため「通学路」の交通標識を設置してほしい。
回答⑦	(鹿児島市道路建設課) 現場調査を行い警察と協議した結果、通学路であることを周知するため、隣接者の同意をいただいたうえで、「通学路」の警戒標識を設置します。
要望⑧	帯迫交差点、ワールドジム前県道の横断歩道は登下校時に児童が車道ギリギリで信号待ちしており非常に危険。歩道側に歩行者用の停止線をひいていただきたい。
回答⑧	(鹿児島市道路建設課) 現場調査を行い警察と協議した結果、歩行者用の停止白線設置は難しいところです。また、代替案としてラバーポールの設置を検討しましたが、通行車両や駐車車両に支障となることから設置は難しいところです。なお、要望箇所には信号待ちの際に歩行者が待機できる空間があることを踏まえ、信号待ちで車道寄りに待機しないよう児童に対する交通安全教育の実施で対応していただければと考えております。